

FPT デジタルリテール (FRT)



《企業紹介》

同社はベトナム全土でスマートフォンやノートパソコン等のモバイル機器及び家電製品を販売する FPT ショップと、医薬品の小売および簡易医療サービスを提供する FPT ロンチャウを経営する企業である。ベトナム最大の IT 企業の FPT 情報通信 (FPT) によって設立され、FPT は同社株式の 46%(2025 年 7 月)を保有する筆頭株主である。

FPT ショップは、米国アップルコンピュータ社の公認販売業者としてアップル社に認められたサービス水準が競争力となり、情報機器や家庭用電気製品の小売チェーン店として国内大手の一角を占めている。また、FPT ロンチャウは、手薄なベトナムの医療ネットワークを補完するチェーンを目指し、高品質なサービスを一体的に提供することに努めた結果、国内首位のドラッグストアチェーンとなっている。

《2026 年 4—6 月期業績》

2026 年 4—6 月期の売上高は前年同期比 37.2%増の 15.6 兆 VND (ベトナムドン) となった。FPT ショップの売上高は同 32.9%増の 4.5 兆 VND だった。店舗数は同 0.6%減の 621 店舗だったので、引き続き店舗当たりの売上高の拡大が牽引役となっている。FPT ロンチャウの売上高は同 38.4%増の 11.1 兆 VND となった。店舗数が同 20.4%増の 2,639 店舗となったことに加え、サービスの品質向上やワクチンセンターの増設によって引き続き店舗当たりの売上高を大きく伸ばしたことが貢献した。

粗利益率が同 0.3%ポイント上昇の 20.2%となったことから粗利益は同 39.2%増の 3.1 兆 VND となった。店舗の生産性改善を反映し、販売費が同 27.4%増の 2.1 兆 VND、一般管理費が同 19.6%増と抑制的だったことから、営業利益は同 171.7%増の 5,588 億 VND と大きく伸びた。税前利益は同 174.1%増の 5,665 億 VND、純利益は同 187.8%増の 3,415 億 VND となった。

FPT ロンチャウの店舗当たりの売上高の成長からは、商品やサービスの提供がベトナムの中間層のニーズに対して的確に行われていること、既に医療関連製品やサービスの分野で圧倒的な競争力を有していることがうかがえる。先行投資の回収が本格化しているとみられ、利益率改善を伴った売上高拡大が続き、高水準の利益成長が続く可能性が高まっているといえそうだ。

図表1 四半期業績の推移 (単位 十億VND)

	2025年4-6月期		2025年7-9月期		2025年10-12月期		2026年1-3月期		2026年4-6月期	
		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)
売上高	11,390.3	23.3	13,109.9	26.4	14,912.8	30.3	15,116.9	29.5	15,626.0	37.2
粗利益	2,271.1	25.4	2,539.4	34.3	2,874.7	38.6	2,994.9	28.8	3,160.8	39.2
粗利益率(%ポイント)	19.9	0.3	19.4	1.2	19.3	1.2	19.8	-0.1	20.2	0.3
営業費用	2,065.4	20.3	2,217.1	31.1	2,456.9	28.4	2,528.6	22.9	2,601.9	26.0
金融費用(マイナスは受取超過)	31.5	-11.3	16.7	-49.9	2.0	-95.4	8.1	-84.1	39.6	26.0
販売費	1,660.3	21.9	1,789.9	35.6	1,979.9	35.1	1,998.4	25.8	2,115.3	27.4
一般管理費	373.7	16.7	410.6	21.5	475.0	17.2	522.1	24.8	447.0	19.6
営業利益	205.7	119.9	322.3	61.8	417.8	159.0	466.3	74.6	558.8	171.7
税前利益	206.7	187.9	324.9	64.9	415.0	145.1	471.6	73.1	566.5	174.1
税引後利益	118.7	343.7	218.7	55.2	289.5	160.6	287.4	71.1	341.5	187.8

出所 会社資料をもとに当社作成

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人資産運用業協会

有効期限作成日より 180 日

News20260804

主な事業 金融商品取引業

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。

FPT デジタルリテール (FRT)

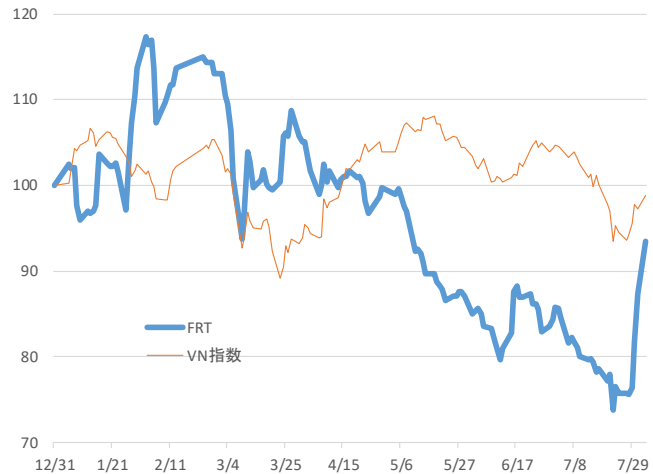
《株価の推移》

図表 2 は、同社の株価と VN 指数について 2025 年末の終値を 100 として指数化したものである。同社の株価は 4 月中旬以降に下落トレンドへ転じ、アンダーパフォームが続いていたが、4-6 月期決算発表を契機に反発し、キャッチアップの動きを強めている。8 月 3 日終値ベースで VN 指数が 2025 年末比 1% の下落となっているのに対し、同社の株価は 7% の下落となっている。8 月 3 日終値 133,100VND で計算した時価総額は 23.8 兆 VND で、これは 2025 年 12 月期の純利益の 7,949 億 VND の 30 倍となっている。

同社は 2026 年 12 月期について、売上高を前期比 16% 増の 59.5 兆 VND、税前利益を同 27% 増の 1 兆 5,500 億 VND と計画している。1-6 月累計実績の計画に対する進捗率は売上高が 52%、税前利益が 67% となっており、採算改善は計画の想定を大きく上回っている可能性がある。

ベトナムの小売り大手各社は総じて業績が改善しており、医薬品の小売事業に進出する試みや、出店攻勢に転じる動きがみられる。このため、競争激化が予想されていたが、足元では売上面でも採算面でも同社に対する影響はみられない。同社の医薬品の小売事業で高い競争力の持続性に引き続き注意が必要だが、これまでの販売戦略の展開や人材投資などの経緯をみる限り、短期間にキャッチアップされるリスクは大きくないと考えられるだろう。

図表2 株価推移



出所 各種データをもとに当社作成

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人資産運用業協会
主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より 180 日

News20260804

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。